

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 13 道路維持補修事業						☐ 法定受託事務		
所管課	都市整備部 道路河川整備課					評価者	道路河川整備課長 小川 拓也		
一般	会計	款	45	項	10	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備			施策の方針名		道路・橋りょうの整備・維持管理		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

■ 単年度事業 □ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ■ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕 （道路維持補修事業から道路施設改良事業を新設）	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕 （道路維持補修事業から道路施設改良事業を新設）
予算額（千円）	73,454	149,952	
国県支出金	18,700	35,200	
地方債	39,600	103,200	
その他			
一般財源	15,154	11,552	0
当初人員配置数	1.0	1.3	0.0
人件費（千円）	8,537	11,474	0
事業実績	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕 （道路維持補修事業から道路施設改良事業を新設）	道路施設（橋りょうを除く）の計画的修繕 （道路維持補修事業から道路施設改良事業を新設）
決算額（千円）	63,338		
国県支出金	7,374		
地方債	38,700		
その他			
一般財源	17,264	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	トンネル等長寿命化修繕事業における修繕完了数 (年度ごと)	箇所	0	7	1		
	実績につながる活動	大船駅東口ペDESTロリアンデッキの修繕を行った。				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・大船駅東口ペDESTロリアンデッキ修繕工事（Bデッキ）を実施し、安全性向上に寄与した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	道路トンネルの長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率	%	0	↗	0			1
成2	横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率	%	57.1	↗	71.4			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・ 成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・ 成果指標No.2について、計画通りの修繕を実施し、目標を達成した。横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を実施したことで目標通り修繕の実施が出来ている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・ トンネル等長寿命化修繕計画に基づく修繕実施（活動結果指標）により、道路トンネル長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率橋りょうの健全性の向上施設数率（年度ごと）（成果指標）の目標値を達成しており、これは本事業を行った成果である。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない	
方向性	評価実施年度の方向性 →		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 → ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合		
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 → ☐ 予算規模を縮小済	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する		
	今後の取組方針（見直し方針）				
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし			
総評	今後も事業を継続し、着実に工事を発注することで、適切な道路施設の維持管理を行い、豊かな暮らしや安全で安心できる環境の創出を図っていく。				上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	個別計画に基づき実施している事業であり、他市比較による評価は困難であり、他市比較は適切でないと考えます。
----------------------	--